

質問 発電量計測表示装置設置工事について、具体的な設置予定場所は。
答弁 発電量を表示するための装置で、再生可能エネルギーの利用と脱炭素に関心を持っていただく趣旨から、現時点では1階の総合案内近くを予定。

質問 公園施設長寿命化対策事業の当初予算が大幅に増えているが、その概要と工事の見通しは。
答弁 5年度は当該実施設計分の更新工事等を予定していることから、増額となった。6年度及び7年度は主に施設の補修を実施していく予定。

質問 住民基本台帳事務費増の要因は。
答弁 住民基本台帳データ入力等事務委託増が要因。「書かない窓口」のスタートに当たり、御不便をかけないよう、フロア案内の人数を現在の1名から4名の体制とすることを考えている。

質問 第五小学校普通教室の整備工事の概要は。
答弁 児童数増加による学級増および35人学級対応のために普通教室の整備工事を行うもの。現状の保健室を移転させ、そこに普通教室を造り、また、来客用玄関の横に事務室を移転させるなど、部屋の使いやすさの向上を狙っている。

質問 出産・子育て応援交付金事業の申請状況と、申請書の不備への対応は。
答弁 申請書について、1月時点で妊娠中で1月末までに妊婦面談を受けた方へは3月7日に送付。1月に出産し2月に面談（新生児訪問）を受けた方へは4月中に発送予定。2月以降に妊娠された方については面談時に申請書を随時お渡ししている。レ点漏れなど簡易な不備の場合は、電話で連絡を取り担当にて申請書に追記しており、自署欄の記載漏れの場合は本人に折り返し、再送付いただいている。

質問 グループホーム緊急整備支援事業の概要は。
答弁 認知症高齢者グループホーム整備促進事業補助金及び地域密着型サービス等整備推進事業補助金の2種類の整備費補助金は、補助上限の枠内で補助率10分の10の都補助金を2カ年の事業として活用するもの。4年度は10%分を予算計上し、5年度は出来高90%分の事業として補助金を交付するもの。開設準備経費等支援事業補助金は、5年度当初予算のみに計上している。

質問 不登校対策に関し、現場の先生方の指導について伺う。
答弁 いじめと同様に、早期発見・対応が大切と考え、教員にも各種研修等を通して指導している。生活指導主任会や校長会、副校長会でも、適宜、都の資料等を提示し、早期発見・対応に努めるよう指導していく。

令和5年度予算の主な継続・拡大事業

事業名	予算額
書かない窓口の導入	4,518万4千円
消防団詰所大規模改造工事	7,142万3千円
公園施設長寿命化対策事業	7,348万円
市道207号線整備事業	1億5,728万5千円
東村山都市計画道路3・4・13号線及び3・4・21号線整備事業	10億3,839万1千円
道路舗装補修工事等	3億1,508万4千円
認知症高齢者グループホーム整備促進事業補助金、地域密着型サービス等整備推進事業補助金、介護施設等の開設準備経費等支援事業補助金	2億395万8千円
不登校対策事業	965万7千円
出産・子育て応援品配布事業	918万5千円
第五小学校普通教室整備工事	1億1,555万7千円
第九小学校東校舎棟中規模改造ほか工事	1億5,384万6千円
発電量計測表示装置設置工事	130万円

拡充を求める

令和5年度一般会計予算に反対の立場から討論する。
 ①証明書等発行手数料について、市役所窓口や出張所での発行も減額すべき、②ごみの指定収集袋の全戸配布事業について、容器包装プラスチック用だけでなく、全ての種類の指定収集袋を配布すること、③公園の再編や新規築造等の取り組み具現化のため、多様なニーズが示された場合、ボ

食の支援に取り組みるよう、子供の食の確保事業の対象を子ども食堂の運営にも拡大すること、⑤学童保育所運営業務委託について、全保護者や子どもたちにアンケート調査を行い改善に努めること、以上を求める。

市政の課題について、①しんかわ保育園の最後を締めくくる市の最高責任者として、保護者のもとに向く機会を持つこと、②公立保育園へのこれ以上の民間活力導入と、説明責任を果

これら3つの重点施策の実現には多くの困難と大きな壁があるが、真正面から全力で解決することが富田新市政最大の使命。

道の駅の実現にはまだ課題があるが、やる前に諦めていたら市は何も変わらない。やれる・できると信じ挑戦することに意義がある。今回の予算は歳出削減の取り組みは不十分だが、マイナス面の批判よりプラス面の評価の方が市のためになると判断し、すべての予算に賛成する。

久留米ハートネット

東久留米新時代幕開け予算に賛成

今回の予算は富田新市政本格始動のための予算。積極的に課題解決に取り組み富田市政の一番評価できる点は、将来への明確なビジョンを示し、長期的視点で行政運営を行うとしていること。市のこれからの50年を考えた行政運営を行うため誕生したのが富田市政。公共施設マネジメントで

「子どもたちへの投資」について、目玉はボール遊びのできる公園整備であるが、何を指すのか。

「あんしんして暮らせるまち」も、市長の描くまちづくりの青写真が予算に示されていないことは残念。今後50年を見据えることは評価するが、肝心のあるべき姿の想定がない中、実のある政策展開をしていくのか。特に気になるのが、このまちの歴史や文化の保護や研究がおざなりになっていないかということである。

市民の声を聴く

東久留米らしい予算編成を望む

当予算は富田市長にとって2度目、初めて市長として最初から取り組んだ予算となり、富田市政らしさが多少は見える予算と言える。公共施設マネジメントについて、多くの自治体が既に着手している。今のところ具体的な形が見えない。早期に具体的な計画を示されることを切に望む。

市史編さんも予算案に計上されていない。過去を知らずに未来は語れない。没個性とはいえず、子育てや福祉、緑地保全などの予算が計上されており、体的には堅実な予算案と評価する。市長の手腕と職員の努力には頭が下がる。

市長の知性と行動力で東久留米市を発展させていくことに期待し、一般会計予算案に賛成する。3特別会計予算案および下水道事業会計予算案には意見を付すことなく賛成する。